

**平成27年度進行管理・評価シート**  
**名古屋市歴史的風致維持向上計画（平成26年2月14日認定）**

**□進捗評価シート(様式1)**

①組織体制(様式1-1)		
1 計画の実施・推進体制	.....	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1 景観計画	.....	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 名古屋城本丸御殿の復元	.....	3
2 名古屋城重要文化財等展示収蔵施設の整備	.....	4
3 名古屋城二之丸庭園の整備	.....	5
4 名古屋城石垣の整備	.....	6
5 重要文化財「旧名古屋控訴院地方裁判所区裁判所庁舎」の保存・公開と市政資料館としての活用	.....	7
6 文化のみち二葉館(名古屋市旧川上貞奴邸)の管理運営	.....	8
7 文化のみち榎木館の管理運営	.....	9
8 名古屋市役所本庁舎及び愛知県庁舎の歴史的価値の維持向上	.....	10
9 栄地区まちづくりプロジェクトの推進(名古屋テレビ塔)	.....	11
10 「歴史の里」整備事業(古墳等の整備)	.....	12
11 本町城下町歴史案内板等整備事業	.....	13
12 世界の金シャチ横丁(仮称)構想の推進	.....	14
13 歴史的町並み保存事業(白壁・主税・榎木地区)	.....	15
14 歴史的町並み保存事業(四間道地区)	.....	16
15 建中寺前無電中化事業(市道 平田黒門町線 無電柱化事業)	.....	17
16 徳川園の管理運営	.....	18
17 蓬左文庫の保存と公開活用	.....	19
18 堀川の総合整備	.....	20
19 尾張名所図会看板の整備	.....	21
20 「歴史の里」整備事業(全体ネットワーク化事業)	.....	22
21 中川運河の再生	.....	23
22 栄地区まちづくりプロジェクトの推進(久屋大通公園)	.....	24
23 史跡名勝標札、史跡散策路案内板等設置事業	.....	25
24 歴史的建造物の登録・認定	.....	26
25 なごや歴まちびとの派遣	.....	27
26 文化のみちの推進	.....	28
27 「歴史の里」整備事業(公開活用事業)	.....	29
28 指定文化財(建造物・史跡等)の保存修理事業	.....	30
29 まちづくり協議会等による地域まちづくりへの支援	.....	31
30 名古屋城本丸御殿障壁画復元模写	.....	32
31 名古屋城本丸御殿障壁画保存修理	.....	33
32 郷土ゆかりの文学資料室	.....	34
33 水上交通ネットワークの検討	.....	35
34 「ものづくり文化の道」推進事業	.....	36
35 中区の成り立ち・歴史・文化をいまに伝える事業	.....	37
36 熱田区役所における歴史資料展示	.....	38
37 名古屋まつり	.....	39

38	山車祭り等の伝統行事の継承事業や山車などの保存修理事業、及びわくわく文化財普及事業など文化財公開活用事業・・・	40
39	伝統産業若手育成事業助成	41
40	伝統産業新商品開発事業助成	42
41	伝統産業製品PR事業助成	43
42	名古屋市民芸術祭	44
43	なごや子どものための巡回劇場	45
44	名古屋市芸術文化団体活動助成	46
④	文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)	
1	文化財調査、市町村による文化財指定、保存管理(活用)計画の策定・見直しなど	47
2	文化財に関する事業(修理・修景、復元等)、文化財の周辺環境(道路・博物館等施設)に関する事業など	48
3	防災に関する事業(防火・防犯のための施設設備の設置・改修等)文化財防火デー等の防災訓練の取組	49
4	文化財に関する普及・啓発の取組、民間団体への助成・支援(保存会への支援、用具の修理、担い手の育成等)、民間団体と連携・協力した取組、民間団体が実施した取組等	50
5	埋蔵文化財の取り扱いに関する方針(具体的な計画)	51
⑤	効果・影響等に関する報道(様式1-5)	52
⑥	その他(様式1-6)	53
	<b>□法定協議会等におけるコメントシート(様式4)</b>	<b>54</b>

評価軸①  
組織体制

	評価対象年度	平成27年度
項目	現在の状況	

計画の実施・推進体制

- 実施済
- 実施中
- 未着手

計画に記載している内容

まちづくり担当部局の住宅都市局歴史まちづくり推進室、文化財保護担当部局の教育委員会文化財保護室を中心とした庁内組織である「名古屋市歴史的風致維持向上計画連絡会議」と、学識経験者らで構成される「名古屋市歴史的風致維持向上計画懇談会」が連絡調整を行いながら事業を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

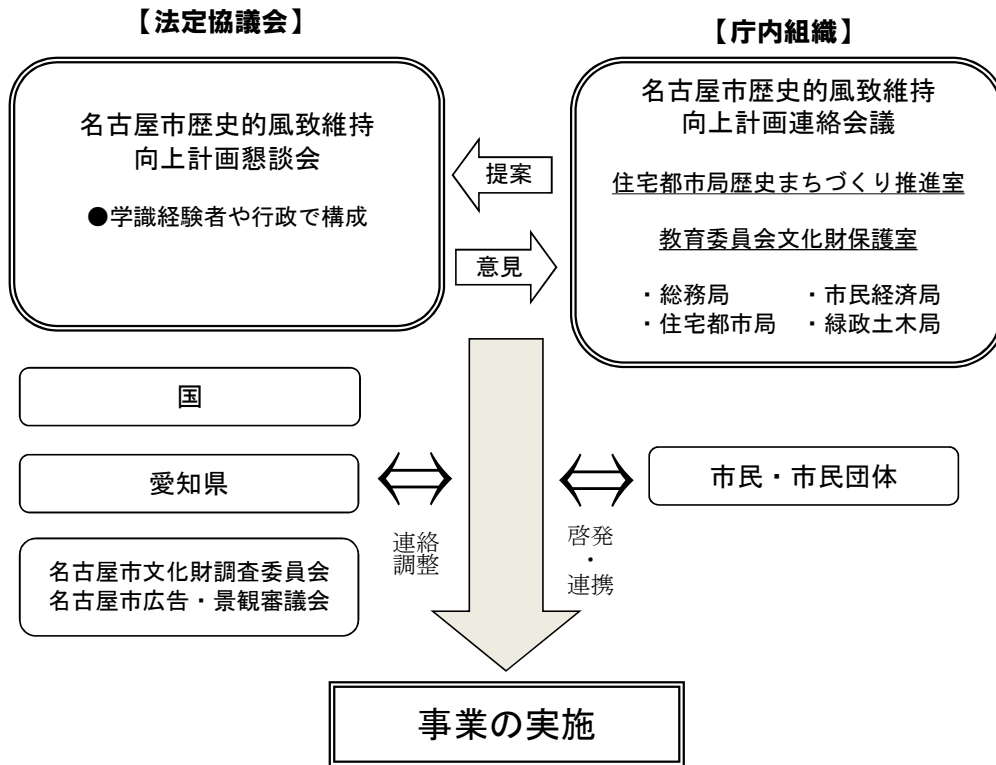
平成28年3月23日に「名古屋市歴史的風致維持向上計画懇談会」を開催。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



計画の推進体制

平成28年3月23日  
名古屋市歴史的風致維持向上計画懇談会の様子

評価軸②

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	平成27年度 現在の状況
景観計画		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 都市景観形成地区における良好な景観形成、景観上重要な建造物等についての保全(景観重要建造物・景観重要樹木・都市景観重要建築物等)、屋外広告物の規制

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

景観条例及び景観計画に基づき、建築物や工作物等の新築・増改築等の行為に関して適正な規制及び誘導を行い、良好な景観形成に努めた。

- ・都市景観形成地区における届出件数 [平成26年度] 425件 [平成27年度] 473件
- ・都市景観重要建築物への助成 [平成26年度] 2件 [平成27年度] 1件
- ・屋外広告物許可 [平成26年度] 9,708件 [平成27年度] 10,123件

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

歴史的建造物・歴史的町並みの保全の重要性について、景観計画に位置付け、具体的な取り組みを進めていく。

状況を示す写真や資料等

〇市内における都市景観形成地区



白壁・主税・榎木地区



久屋大通地区



広小路・大津通地区

- 【都市景観形成地区】
- ① 久屋大通地区
  - ② 広小路・大津通地区
  - ③ 名古屋駅地区
  - ④ 四谷・山手通地区
  - ⑤ 築地地区
  - ⑥ 今池地区
  - ⑦ 白壁・主税・榎木地区



評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成27年度
項目		現在の状況	
名古屋城本丸御殿の復元		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成20年度～平成29年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市公園事業)		
計画に記載している内容	近世城郭御殿の最高傑作でありながら昭和20年の戦災で焼失した名古屋城本丸御殿を、実測図等により、史実に忠実に復元する。また、復元過程を公開することにより伝統の知恵と技を学ぶ機会を提供する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成25年度は、玄関・表書院等復元工事の第1期部分(約1,000㎡)の公開を開始し、第2期部分(対面所等)の復元工事を実施した。平成26年度は、第2期部分(対面所等)及び第3期部分(上洛殿等)の復元工事を実施した。平成27年度は、引き続き、第2期部分(対面所等)及び第3期部分(上洛殿等)の復元工事を実施し、平成28年度の第2期公開に向けてカウントダウンニュースを発行するなど復元機運の盛り上げを図った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	史実に忠実な復元のため、関係諸機関と調整し復元方針の検討を行う		
状況を示す写真や資料等			

【平成25年5月29日から一般公開を開始した玄関・表書院】



玄関・車寄(外観)



玄関一之間(床・違棚)



表書院一之間から上段之間を望む

【平成27年度 復元工事状況】



素屋根見学通路東側から下御膳所を望む



素屋根見学通路北側から上台所を望む

【現場見学会・匠体験塾】  
(平成27年9月19日実施)

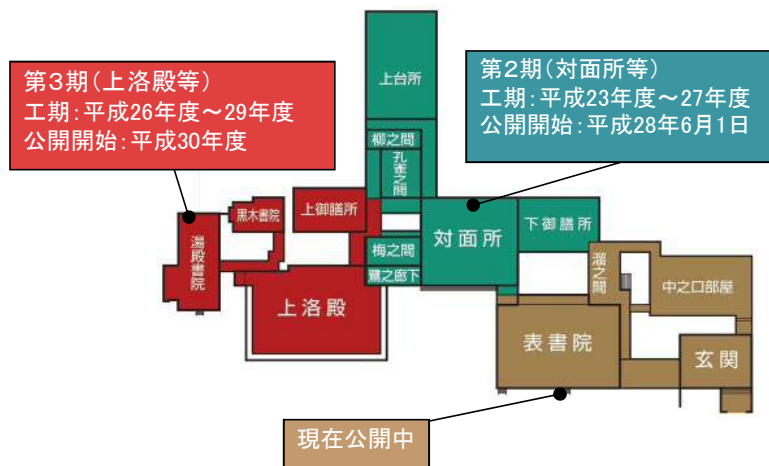


2,110人参加



1,113人参加

【今後の復元工事スケジュール】



【カウントダウンニュース】



評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成27年度 現在の状況
名古屋城重要文化財等展示収蔵施設の整備		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成25年度～平成30年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 名古屋城本丸御殿障壁画をはじめとした名古屋城の重要文化財等を積極的に市民に公開するための展示・収蔵施設の整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成25年度は、名古屋城重要文化財展示収蔵施設整備構想を策定した。  
 平成26年度は、展示収蔵施設予定地の埋蔵文化財発掘調査を行った。  
 平成27年度は、展示収蔵施設の基本設計等を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	展示収蔵施設の外觀等は、江戸後期に名古屋城内にあった米蔵に準拠するが、重要文化財を収蔵する施設としての機能確保を考慮しながら計画を進める。

状況を示す写真や資料等



イメージ図(平成25年度整備構想)



江戸後期の名古屋城内の米蔵  
(古写真)






米蔵の外觀に準拠した展示収蔵施設  
(イメージパース)



評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成27年度
項目		現在の状況	
名古屋城二之丸庭園の整備		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成25年度～		
支援事業名	歴史生き活き！史跡等総合活用整備事業		
計画に記載している内容	名勝名古屋城二之丸庭園保存管理計画に基づき、庭園の本格的な保存整備に取り組む。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
25・26年度に、石組の崩壊を招いている又は招く樹木の伐採、26年度には、明治期に削平された権現山の盛土復元並びに笹巻山の崩壊した石組の修理を行った。27年度は権現山山頂の社跡の遺構再現表示と石段の復元整備及び権現山西側の修復整備を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	国指定名勝庭園区域の拡大に向けて、関係諸機関と調整を行う。		
状況を示す写真や資料等			
【平成27年度】			
			
復元前石段(権現山)		復元された石段(権現山)	
			
<p><b>発掘調査現地説明会の開催</b>                      10月16日及び17日の2日間                      各午前・午後の計4回                      参加者数は延べ500人</p>			

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	現在の状況
名古屋城石垣の整備	平成27年度	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 昭和50年度～

支援事業名 地域の特性を活かした史跡等総合活用支援推進事業

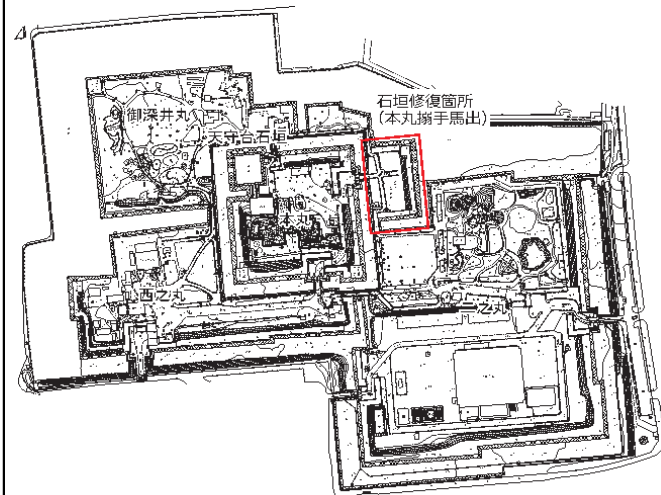
計画に記載している内容 特別史跡名古屋城跡の重要な要素である名古屋城石垣について、修復工事等を実施し、歴史的景観を保全している。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

大きな孕みがみられた本丸搦手馬出(からめてうまだし)周辺石垣について平成14年度から継続して修復工事を行っている。  
平成25年度までは、石垣の取り外し及び調査を実施した。  
平成26,27年度は、根石の調査を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	積み直す際の石垣の勾配など修復計画について、関係諸機関と調整しながら検討を進める。

状況を示す写真や資料等



石垣整備箇所(本丸搦手馬出)

石垣修復現場見学会状況  
(2月27日実施、130名参加)



修復工事前の石垣(平成14年度)

修復工事中の石垣(平成27年度末)



評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成27年度 現在の状況
重要文化財「旧名古屋控訴院地方裁判所区裁判所庁舎」の保存・公開と市政資料館としての活用		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成元年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 重要文化財「旧名古屋控訴院地方裁判所区裁判所庁舎」を市の公文書館である「名古屋市市政資料館」として活用し、市政・司法・建物に関する資料の展示等を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

常設展示のほか、企画展及びミニコンサートなどのイベントを開催した。

●平成27年度入館者 72,322人(平成28年3月末現在)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

●企画展

「夏休み子ども向け企画展 名古屋市のうつりかわり」 平成27年7月18日～8月30日 入館者 6,688名  
 「名古屋まつりポスター展」 平成27年9月20日～10月19日 入館者 6,266名

●主なイベント

「歩こう！文化のみち」 平成27年11月3日 入館者 1,898名  
 「オータムコンサート」 平成27年10月26日 入館者 502名  
 「名フィルまちなかコンサート」 平成28年2月21日 入館者 437名  
 「スプリングコンサート」 平成28年3月12日 入館者 869名



名古屋フィルハーモニー交響楽団による



夏休み子ども向け企画展



名古屋まつりポスター展



市立菊里高校音楽科の生徒による  
「オータムコンサート」

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成27年度
項目	現在の状況	
文化のみち二葉館(名古屋市旧川上貞奴邸)の管理運営	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成16年度～
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	歴史的建造物である文化のみち二葉館の保存・活用を進める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

川上貞奴が居住した建物を創建当時の姿に移築復元し、文化のみちの拠点施設として平成17年2月8日より一般公開している。文化のみちの情報発信、川上貞奴に関する資料・郷土ゆかりの文学資料の展示、そして企画事業の実施などにより市民文化の振興に寄与している。

【定量的評価】  
 26年度 入館者数35,942人 貸室稼働率30% 利用者満足度100%  
 27年度 入館者数27,558人 貸室稼働率28% 利用者満足度100% (平成28年1月末実績)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	文化のみちの拠点施設として、周辺施設とのさらなる連携が課題である。イベントや広報を他施設と連携して実施するなど、さらに連携を進めていく必要がある。

状況を示す写真や資料等



ビデオ上映  
「文化のみち全体の紹介映像」



常設展示  
「当時の暮らし(室内イメージの再現)」



企画事業  
「福よせ雛」  
平成28年2月8日～2月14日



企画事業  
「ステンドグラスー今・昔ー」  
平成27年5月30日 (参加人数 198名)

評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成27年度 現在の状況
文化のみち榑木館の管理運営		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成21年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 歴史的建造物である文化のみち榑木館の保存・活用を進める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史的建造物である文化のみち榑木館を平成21年7月17日から一般公開している。  
文化のみちの歴史などに関する展示や、企画事業の実施などにより市民文化の振興に寄与している。

【定量的評価】

26年度 入館者数16,619人 貸室稼働率48% 利用者満足度97%

27年度 入館者数14,167人 貸室稼働率58% 利用者満足度97% ※平成28年1月末時点

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	文化活動の促進により市民文化の振興に寄与する施設として、周辺施設及び地域団体等とのさらなる連携が課題である。イベントや広報を他施設及び地域団体等と連携して実施するなど、さらに連携を進めていくことが必要である。 状況を示す写真や資料等



常設展示  
「文化のみち」における近代建築物の保存と活用



企画事業  
名古屋浪漫建築散歩  
平成27年4月22日～5月6日 参加者数1324人



企画事業  
文化のみち榑木館開館6周年記念  
榑木館ジャズ生演奏  
平成27年7月11日 参加者数90人



企画事業  
ドイツと日本・陶磁の出会い  
～セラミックデザイン、器とジュエリーの場合  
平成27年12月2日～13日 参加者数480人



評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成27年度
項目	現在の状況	
名古屋市役所本庁舎及び愛知県本庁舎の歴史的価値の維持向上	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成26年度～平成35年度

支援事業名 市単独事業 ※名古屋市内のみ

計画に記載している内容 名古屋市役所本庁舎と愛知県庁本庁舎の並立する景観と両者の歴史的価値の維持向上を図るとともに、庁舎の公開等を行っていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

名古屋市役所本庁舎の歴史や魅力を広く市民に伝えていくため、平成19年度から実施している庁舎開放イベント(11月3日)を実施するとともに、小中学校の社会見学などの団体向け庁舎見学の受け入れを行った。また、平成27年度は閉庁日のガイドツアーを3回実施し、計393名が参加した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

●庁舎開放イベント実施結果

開催日 : 平成27年11月3日(祝・火)  
 開催時間: 午前9時30分～午後4時00分  
 入場者数: 5,900人

(参考)過去3年間の入場者数

平成24年度	3,400人
平成25年度	6,600人
平成26年度	7,100人



●庁舎見学の受け入れ実績

平成27年度	41団体(868名)
--------	------------

(参考)過去3年間の受け入れ実績

平成24年度	27団体(701名)
平成25年度	52団体(758名)
平成26年度	16団体(333名)



●庁舎開放イベントの様子

●平成27年度ガイドツアー実施結果

開催日 : 平成27年6月6日(土)  
 平成27年8月30日(日)  
 平成28年2月6日(土)

開催時間: ①午前10時30分～  
 ②午後1時00分～

参加者総数: 393名  
 ※応募総数634通



●ガイドツアーの様子

評価軸⑨-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成27年度
項目		現在の状況	
栄地区まちづくりプロジェクトの推進(名古屋テレビ塔)		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成22年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	日本初の集約電波塔であり、登録有形文化財でもある名古屋テレビ塔について、都心の重要な観光施設として活用していくための方策を検討していく。		
夏期及び冬期と2回に分けて、夜景とプロジェクションマッピングをコラボレーションさせたイベント「CITY LIGHT FANTASIA by NAKED」を実施			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	展望台等を観光客の利用に供するとともに、おもてなしサービスの強化により、集客の向上を図る。		
状況を示す写真や資料等			
■夏季・冬季でプロジェクションマッピングの内容を変え、CITY LIGHT FANTASIA by NAKEDを実施。  【夏季】 日 程 平成27年7月18日～9月27日 来場者数 86,895人(開催期間中の総数)			
			
(テレビ塔内から撮影)			
【冬季】 日 程 平成27年11月20日～平成28年2月14日 来場者数 88,058人(開催期間中の総数)			
			
「CITY LIGHT FANTASIA by NAKED」ポスター(冬)			

評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成27年度
項目	現在の状況	
「歴史の里」整備事業(古墳等の整備)	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成26年度～平成29年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)、文化財保存事業費関係国庫補助

計画に記載している内容 守山区上志段味地区に残る志段味古墳群の保存・活用のため、一部の古墳の復元整備を行うとともに、各種施設を適宜整備する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

「歴史の里」基本計画(平成26年3月策定)、古墳の保存管理計画(平成27年3月策定)に基づき、古墳の保存復元や緑地整備に着手した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	今後、第2期整備に向け、調査及び整備計画の策定を行う。

状況を示す写真や資料等



(平成27年10月時点)



(平成28年2月時点)

志段味大塚古墳(保存復元工事施工中)

【平成27年度実施の古墳整備の事業内容】

- 志段味大塚古墳一墳丘、葺石、周濠の復元等
- 白鳥塚古墳一周濠の一部復元、見学者用の階段設置等
- 勝手塚古墳一埴輪列の一部復元、盛土流出の防止措置等
- 東谷山白鳥古墳一石室内部への照明、音声案内の整備等
- 東谷山山頂古墳一葺石や埴輪列の一部復元等



評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成27年度 現在の状況
本町城下町歴史案内板等整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成26年度～平成30年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 名古屋城本丸御殿の復元にあわせ、歴史案内板の設置、スマートフォンと連携した情報提供等、本町通周辺の環境整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

城下町の歴史を楽しみながら知ってもらうために、クイズラリー形式のまち歩きイベントを実施した。(参加者数:210名)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
 計画どおり進捗していない

地域や関係機関が本町通の歴史を伝える案内板を整備していることから、整備方針について再検討が必要である。現在は町の成り立ちや身近な歴史資産を広く知ってもらう啓発イベントを継続的に実施している。

状況を示す写真や資料等



謎解き歴史まち歩きイベント「ぶらり橋町界限」

日時: 平成27年11月28日(土) 10:00～14:00

場所: 名古屋市中区橋町界限

**橋町界限**

橋町は、寛文4年(1664)に、尾張藩2代藩主徳川綱元によって定められた。城下町が広がる以前には大木戸が設置され、商人が荷物をつかさどる、城下の歴史を伝える役割を果していました。そして、その歴史は一つ一つの町が支えられてきました。一つ一つ、歴史を語り継ぎ、町を歩きます。そして、歴史を語り継ぎ、町を歩きます。そして、歴史を語り継ぎ、町を歩きます。

- 大木戸跡**
- 崇徳寺(寺町大菩提)**
- 西別院(浄土真宗本願寺名古屋別院)**
- 東別院(浄土真宗本願寺名古屋別院)**
- 日置神社**
- 織造跡**

**黒漆喰の町並み**

名古屋城と熱田と熱田のメインストリートであった黒漆喰は、名古屋城内の歴史を伝える重要な役割を果たしています。黒漆喰の町並みは、名古屋城内の歴史を伝える重要な役割を果たしています。黒漆喰の町並みは、名古屋城内の歴史を伝える重要な役割を果たしています。

- 有限会社 新栄組**
- 合名会社 美濃物産**
- めん処 美濃漬物**

当日配布したまち歩きマップ

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成27年度
項目		現在の状況	
世界の金シャチ横丁(仮称)構想の推進		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成24年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	開府以降400年間に培ってきた名古屋の文化(歴史、生活、産業技術)と、それを支えてきた人のつながりや時代のつながりをじっくり「見て」「知って」「体感・体験」できる空間づくりを目指す。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
【平成25年度】平成24年度に策定した「世界の金シャチ横丁(仮称)基本構想」の実現に向けて、構想の事業化検討調査を実施した。名称は公募により「金シャチ横丁」に決定した。また、整備候補地にて埋蔵文化財の試掘調査を行った。 【平成26年度】整備候補地にて埋蔵文化財の発掘調査を実施した。また、民間事業者を対象にした「事業説明会」を実施し、整備候補地にて将来の「金シャチ横丁」をイメージした社会実験を土日祝日5日間にわたり実施した。 【平成27年度】公募条件の検討を慎重に行ったうえで、「金シャチ横丁第一期整備事業提案」の公募を開始した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		金シャチ横丁独自の魅力創出について、運営事業者と連携しながら検討を行う。	
状況を示す写真や資料等			
金シャチ横丁構想の段階的な整備の第一段階として、「尾張名古屋文化の旅の基点(正門側)」及び「東のゲートウェイの創出(東門側)」の2箇所において、営業施設の事業計画、建設及び管理運営に関する提案を募集した。提案の主な基本条件及び27年度のスケジュールは、以下のとおりです。			
【提案の主な基本条件】		名古屋城周辺図	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「尾張名古屋文化の旅の基点(正門側)」及び「東のゲートウェイの創出(東門側)」2箇所一括で提案すること。</li> <li>・本施設にかかる一切の工事は、一旦、事業者の負担において一体的に施工すること。ただし、公的施設に該当する部分は、整備完了後、市が費用負担し取得する。</li> <li>・事業者は、提案対象区域内に、都市公園法に基づく占用許可及び設置許可において公的施設及び営業施設を建設・管理・運営すること。</li> <li>・提案対象区域内は、園路等の公的施設も含め、事業者が一体管理をすること。</li> <li>・事業期間は当初10年とし、更新できるものとする。なお、更新は市との協議の上、5年毎とし、最長10年間を上限とする。ただし、この場合の事業期間とは、営業を開始した時点からとする。</li> <li>・公園施設であることを意識し、公共性の高い憩い、集いの場の創出に努めること。</li> <li>・営業施設の業種は、名古屋の歴史・文化を発信するためにふさわしいもので、公園利用者のための飲食施設及びおみやげ物を中心とした物販施設とすること。</li> </ul>			
【金シャチ横丁第一期整備事業スケジュール(27年度)】			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・募集要項の配布(平成27年11月17日～12月8日) … 事務局、HPで配布</li> <li>・説明会の開催(平成27年12月11日) … 60名(30社)の参加あり</li> <li>・応募登録(平成27年11月17日～平成28年1月15日) … 複数社から応募登録あり</li> <li>・提案書受付(平成28年3月14日～3月16日) … 複数社から提案書の提出あり</li> </ul>			

評価軸③-13

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成27年度
項目	現在の状況	
歴史的町並み保存事業(白壁・主税・榎木地区)	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 昭和60年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 白壁・主税・榎木地区において、町並み保存地区及び伝統的建造物の指定を行うとともに、保存地区内の建造物の修理・修景等に対する技術的支援及び経済的支援(助成)を継続して行う。また、この地区の特徴である門塀や緑と調和するサイン、案内板、解説板等の整備を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

保存地区において、建築行為等を行おうとするものに対し、届出を要請し、この際に専門的・技術的な指導・助言を行った。指導・助言件数は7件。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

- 建物を新築する際に、道路境界に門・塀を設置するよう指導を行った。平成27年度の指導・助言件数は7件。



白壁・主税・榎木地区の町並み  
江戸時代以来の武家屋敷の地割を残しており、門・塀からなる屋敷景観と近代洋風建築が建ち並ぶ町並みを形成している。



評価軸③-14

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成27年度
項目		現在の状況	
歴史的町並み保存事業(四間道地区)		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	昭和61年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	四間道地区において、町並み保存地区及び伝統的建造物の指定を行うとともに、保存地区内の建造物の修理・修景等に対する技術的支援及び経済的支援(助成)を継続して行う。また、地区の歴史的環境に配慮した道路環境整備を実施するとともに、サイン、案内板、解説板等の整備を実施する。 定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
伝統的な建造物は修理基準に基づいた工事、伝統的建造物以外の建造物は修景基準に基づいた工事に伴う費用の一部を助成し、町並みを維持・保全して良好な景観を守っている。平成27年度は1件の助成を行った。あわせて、保存地区において、建築行為等を行おうとするものに対し、届出を要請し、この際に専門的・技術的な指導・助言を行った。指導・助言件数は3件。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

■町並み保存事業(四間道地区)の実施例

※町並み保存地区の伝統的建造物に特定されている土蔵の外



【修理前】

拡大



腰壁(洗い出し仕上げ)の剥落



【修理後】

拡大



評価軸③-15

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成27年度
建中寺前無電柱化事業(市道 平田黒門町線 無電柱化事業)		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成26年度～平成29年度

支援事業名 防災・安全交付金(道路事業)

計画に記載している内容 天王祭などで山車が曳き出される東区筒井地区において、歴史的建造物である建中寺三門周辺の電柱・電線を地中化することで、祭りの背景となる歴史的建造物周辺の景観を向上させる。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成26年度は、電線管理者と協議を進め、電線共同溝の詳細設計を実施した。  
 平成27年度は、道路の北側に電線共同溝を設置した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



工事着手前



現状(平成28年3月末)

評価軸③-16

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成27年度
項目	現在の状況	
徳川園の管理運営	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成16年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 歴史文化拠点として、尾張藩二代藩主光友の隠居地を起源とする徳川園を良好に管理運営し、近世武家文化を国内外に発信していく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

毎年6月に行われる筒井町と出来町の天王祭にあわせて5輦の山車揃えを行い、名古屋城下の華やかな祭りを現代に再現した(平成25年度:6月2日(日)、平成26年度:6月8日(日)、平成27年度:6月7日(日)実施)。また、徳川園開園以来の来園者300万人達成を記念して、式典と関連イベントを行ったほか、各年度を通して、隣接する蓬左文庫、徳川美術館と調整してバランスのとれた行事の実施にとりくんだ。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

徳川園 山車揃え



例年通り、山車5輦が徳川園に勢揃いした。好天で、8,000人の観客が集まった(6月7日)。

徳川園300万人達成記念式典



徳川園開園以来の来園者300万人達成を記念して、式典と関連イベントを行った(8月12日)。

徳川園 観月会



お月見だんご、和舟飾りなどで十五夜を鑑賞する観月会を行った(9/27十五夜)。

徳川園 紅葉祭



夜間開園をし、紅葉をライトアップした。園路を照らす行灯などを配置した(11/20～29)。



評価軸③-17

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成27年度
項目		現在の状況	
蓬左文庫の保存と公開活用		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成16年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	尾張徳川家に伝来した貴重な書籍や絵図類が収蔵・展示されている蓬左文庫の保存と公開活用を積極的に進めている。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
古典籍文庫としての閲覧公開活動を重視しつつ、徳川美術館と連携し尾張徳川家の大名文化を分かりやすく紹介する展示、催事についても積極的に実施した。 特に今年は徳川美術館とともに開館80周年を迎えるとともに、両館の所蔵資料の原点である徳川家康没後400年でもある。記念の年を意識し、名品を満載した展覧会を立て続けに開催し、催事についても充実した内容となった。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		徳川美術館・蓬左文庫開館80周年、徳川家康没後400年の記念展や関連事業を実施し、また、刀剣ブームといった社会情勢を取り込んで入場者が大幅に増加した。	
状況を示す写真や資料等			
閲覧室 閲覧室利用者数 1,245人 閲覧件数 1,113件(市内 499件 県内 262件 県外 352件) 閲覧冊数 5,661冊 参考質問 342件			
展覧会 特別展 平成27年8月1日(土)～9月13日(日) 夏期特別展 ① 家康没後400年記念「徳川家康」 観覧者数 34,404人 (1日平均 905人) 平成27年9月19日(土)～11月8日(日) 秋季特別展 徳川美術館・蓬左文庫開館80周年記念①「茶の湯の名品」②日韓国交正常化50周年記念「豊かなる朝鮮王朝の文化―交流の遺産―」 観覧者数 36,852人 (1日平均 838人)			
企画展 平成27年 4月11日(土)～ 6月7日(日) 「尾張の茶道と香道」展示室1・2 観覧者数 40,189人 (1日平均 804人) 平成27年 6月10日(土)～ 7月26日(日) 「異国への窓―阿蘭陀・波斯・印度―」展示室1 「殿さまが愛した鳥たち」展示室2 観覧者数 21,556人 (1日平均 526人) 平成27年 11月14日(土)～12月13日(日) 「源氏物語―平安の恋物語―」展示室1・2 観覧者数 52,459人 (1日平均 2,018人) 平成28年1月5日(土)～4月10日(日) 徳川美術館・蓬左文庫開館80周年記念「コレクションが語る蓬左文庫の歩み」展示室1・2 観覧者数 56,509人 (1日平均 680人)			
催事 4月12日 第10回 桜・二胡コンサート2015 2,500人 6月7日 山車揃えポスター・うちわ展示 464人 6月7日 徳川園山車揃え 8,000人 10月23日・11月14日・23日 文化財特別公開 2,146人 11月1日 古典の日記念 今井検校の琵琶で聞く平家物語 145人 11月3日～11月8日 蓬左文庫「古書市」 1,033人 11月3日 歩こう!文化のみちスタンプラリー 654人 11月13日 徳川美術館・蓬左文庫開館80周年記念式典 565人 11月29日 文化財ガイドツアー(建中寺・蓬左文庫旧書庫・徳川美術館山の茶屋) 28人 2月5日～3月6日 雑巡りスタンプラリー 1,977人		ガイドツアー  古典の日 	
講座・講演会等 9月19日 講演会「朝鮮本と蓬左文庫」(「豊かなる朝鮮王朝の文化―交流の遺産―」記念講演会) 100人 10月9日 歴史文化講座とガイドツアー「東寺町の歴史文化講座と街歩き」 23人 10月14日 歴史文化講座とガイドツアー「猿猴庵が記録した八事山を歩く」 20人 11月7日 シンポジウム「お互いを理解するみちのり」(「豊かなる朝鮮王朝の文化―交流の遺産―」関連企画) 120人 2月4日・11日 蓬左文庫講座「蓬左文庫 歴史と蔵書」 98人 3月3日・11日 講座「『青窓紀聞』を読む」 144人		シンポジウム  	

評価軸③-18

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成27年度
項目		現在の状況	
堀川の総合整備		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	昭和61年度～		
支援事業名	防災・安全交付金(流域治水対策河川事業)		
計画に記載している内容	堀川では堀川圏域河川整備計画に基づく治水整備を進めているが、堀川とその周辺の歴史・文化資源、まちづくり、市民団体の活動など、堀川をとりまく様々な資産を活かし、周辺のまちづくりを考慮した河川整備に引き続き取り組んでいく。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
堀川圏域河川整備計画に基づく治水整備として、護岸整備および河道掘削を実施。 平成27年度 護岸整備延長 約0.4km 平成27年度 河道掘削量 約2千m <sup>3</sup>			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

【護岸整備】



整備前



整備後

【河道掘削】



護岸整備状況写真



河道掘削状況写真

評価軸③-19

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成27年度
項目	現在の状況	
尾張名所図会看板の整備	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成24年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 市民の歴史に関する関心を高めるとともに、地域の歴史的資源を巡る回遊性を高めるため、江戸時代の尾張地域の名勝、史跡などを絵と簡単な文章で紹介した「尾張名所図会」を、その描かれた場所付近に看板として設置する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

尾張名所図会の看板を描かれた場所付近に設置した。  
 【設置基数】 24年度…2基、26年度…2基、27年度…2基

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

○設置実績

年度	基数	尾張名所図会内容	設置場所
H24	2	断夫山	熱田神宮公園
		夜寒里古覧	旗屋小学校
H26	2	白鳥山法持寺	法持寺
		法華堂本遠寺	本遠寺
H27	2	妙光山誓願尼寺	誓願寺
		亀足山正覚寺	正覚寺
合計	6		

○設置状況



【誓願寺】



【正覚寺】





評価軸③-20

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成27年度
項目		現在の状況	
「歴史の里」整備事業(全体ネットワーク化事業)		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成26年度～平成29年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)、文化財保存事業費関係国庫補助

計画に記載している内容 各拠点地区や周辺施設を結ぶネットワークルートを設定し、「歴史の里」全体の案内版やサイン、古墳の説明板等のネットワーク化のために必要な設備を設置する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史の里のPRロゴを制作するとともに、ゆとりーとライン大曾根駅に案内サインを設置した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

案内板、サイン等の効果的な設置位置等について、さらに検討を行う必要がある。

状況を示す写真や資料等



ゆとりーとライン大曾根駅に設置した案内版  
(平成28年2月設置)



歴史の里 Village of Ancient History  
Shidami Kofungun

しだみ古墳群

歴史の里PRロゴ (平成28年2月制作)

評価軸③-22

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成27年度
項目		現在の状況	
中川運河の再生		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成24年度～(堀止緑地の整備は平成28年度までを予定)		
支援事業名	防災・安全交付金(港湾改修事業、緑地等施設整備事業)※堀止緑地の整備について		
計画に記載している内容	名古屋の暮らしとモノづくりの発展を下支えしてきた中川運河において、堀止緑地の整備や護岸改修、松重閘門の再生などに取り組む。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・堀止緑地の整備 平成26年度 護岸工事(約90m)、実施設計(緑地)    /    平成27年度 造成工事(西側緑地) ・護岸改修 平成26年度 護岸補修その他工事(約180m) / 平成27年度 護岸補修工事(約40m)			
進捗状況	※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



【堀止緑地の整備】



【護岸改修】

評価軸③-22

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成27年度
項目		現在の状況	
栄地区まちづくりプロジェクトの推進(久屋大通公園)		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成26年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	大胆な戦災復興計画により形成された久屋大通公園において、都心のシンボル空間にふさわしい公共空間の整備や、沿道との一体化を図る空間形成等を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成25年6月に策定した「栄地区ランドビジョン」に基づき、平成27年度は久屋大通の北・テレビ塔エリア(錦通以北)において、 ・公共空間を活用した社会実験(7月, 8月, 10月, 11月, 12月に実施) ・事業化の検討を実施した。			
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	NPO法人久屋大通発展会を始めとした地元組織のサポート等を通じ、久屋大通テレビ塔エリアのエリアマネジメントの将来像を具体的に検討していく。		
状況を示す写真や資料等			
【社会実験の実施状況】	Sakae Fete(サカエフェト) 参加人数 143,200人 期間:平成27年7月29日(水)～平成27年8月9日(日) (写真①～⑤)		
			
①もちの木広場地下空間をイベントで活用	②沿道のオープンカフェ拡充		
			
③駐車場をイベント空間として活用	④もちの木広場地下空間でマーケットイベントを実施		
			
⑤公園内でパブリックビューイングを実施	公共街路灯に協賛社名入りのバナーを掲出 久屋大通デザインバナーコンテスト2015 提示期間:平成27年10月1日(木)～平成27年10月31日(土)		



評価軸③-23

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成27年度
項目		現在の状況	
史跡名勝標札、史跡散策路案内板等設置事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 昭和39年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 史跡名勝標札、史跡散策路案内板などの設置事業を行うとともに、こうした歴史関係の案内板を活用し、より身近な歴史に親しむ環境を整える。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

史跡や名勝などの所在地にその由緒などを案内する標札として「史跡名勝標札」を市内に299基(工事などで一時撤去中の標札を含む)設置している。平成27年度は、標札の説明文の修正や補修等を実施した。  
 また、各史跡等を連絡させた散策路コースを設定し、市内80コース(1区あたり3～6コース)の各起点にイラストでコース全体や史跡を紹介した「史跡散策路」案内板を設置、コース途中には誘導標識を設置し、文化財保護意識の普及啓発やウォーキングイベント等での活用を行ったり、案内板の補修等を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	設置後10年以上経過し、文字や塗装等の劣化が見られる標札や案内板がある。劣化状況を確認して計画的に補修を進めていく。

状況を示す写真や資料等

「史跡名勝標札」説明文の修正  
(施工前と施工後)



【施工前】



【施工後】  
(朱線が主な修正箇所)

「史跡散策路名称標札」の補修  
(施工前と施工後)



【施工前】



【施工後】

評価軸③-24

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成27年度
項目		現在の状況	
歴史的建造物の登録・認定		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成23年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 名古屋市都市景観条例に基づき、市内に残る身近な歴史的建造物を地域建造物資産として登録・認定するとともに、その保存活用に向けた技術的支援、経済的支援に取り組む。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

市内に残る身近な歴史的建造物を地域建造物資産として登録・認定し、登録資産は計147件、認定資産は計61件となった。  
 登録・認定資産の所有者に対する技術的支援として、名古屋歴史的建造物保存活用推進員(なごや歴まちびと)の派遣を、平成27年度4件実施した。  
 認定資産の所有者に対する経済的支援として、改修工事費用の助成を、平成27年度1件実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	名古屋市総合計画2018の目標である「平成30年度に登録・認定累計250件」を達成するため、市民、なごや歴まちびと、関係機関等と連携し、身近な歴史的建造物の情報収集体制を強化していく必要がある。

状況を示す写真や資料等

■登録及び認定件数

年度	登録	認定	合計
H23	50	35	85
H24	43	16	59
H25	37	6	43
H26	8	4	12
H27	9	0	9
合計	147	61	208

■技術的支援の実績件数

年度	件数
H23	3
H24	2
H25	2
H26	3
H27	4
合計	14

■経済的支援の実績件数

年度	件数
H23	2
H24	1
H25	4
H26	3
H27	1
合計	11

■登録地域建造物資産(平成27年度登録物件(一部))



第140号 龍興寺 八角堂



第143号 八幡閣



第145号 大須演芸場

評価軸③-25

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成27年度
項目	現在の状況	
なごや歴まちびとの派遣	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成23年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 地域建造物資産に登録・認定された歴史的建造物の所有者からの申請に基づき、名古屋歴史的建造物保存活用推進員(なごや歴まちびと)が保存・活用に関する技術的支援を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

登録地域建造物資産等の歴史的建造物の所有者に対して、名古屋歴史的建造物保存活用推進員(なごや歴まちびと)の派遣を行った。

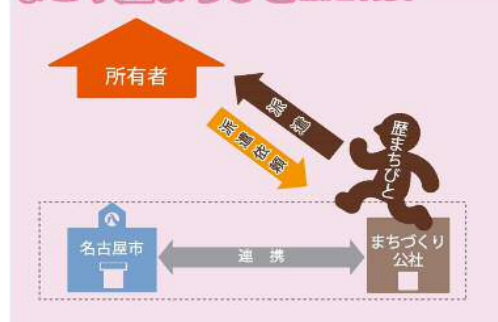
【派遣件数】平成27年度:6件

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	歴史的建造物所有者からの様々な相談への対応を一層強化するため、なごや歴まちびとの追加養成を検討している。

状況を示す写真や資料等

■派遣制度の仕組み

なごや歴まちびと派遣制度



■派遣実績

年度	件数
H23	6
H24	9
H25	6
H26	5
H27	6
合計	32

■過去の主な相談内容

- ・屋根、土蔵、母屋、門、塀の補修方法について
- ・活用に向けた修理計画について
- ・耐震診断について
- ・活用検討のための調査、間取り図作成について

など

■建物調査の様子





評価軸③-26

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	現在の状況
文化のみちの推進	平成27年度	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成11年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 名古屋城から徳川園に至る「文化のみち」エリアにおいて、拠点施設の管理運営、歴史的建造物の保存・活用を行うとともに、「歩こう！文化のみち」などの各種イベントを開催する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

文化のみち施設(文化のみち二葉館・文化のみち榎木館・旧豊田佐助邸・旧春田鉄次郎邸)の活用・管理を行うとともに、「歩こう！文化のみち」などの歴史的建造物を活用したイベントを開催した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	



文化のみち二葉館



文化のみち榎木館



旧豊田佐助邸



旧春田鉄次郎

【実施イベント】



「第16回歩こう！文化のみち」  
平成27年11月3日  
(参加者数:32,391人)



「文化のみち雑巡りスタンプラリー」  
平成28年2月5日～3月6日  
累計台紙配布枚数:4,796枚

評価軸③-27

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成27年度
項目		現在の状況	
「歴史の里」整備事業(公開活用事業)		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成26年度～平成30年度		
支援事業名	文化財保存事業費関係国庫補助		
計画に記載している内容	ウォーキングイベント、ものづくりや宿泊など各種体験学習講座、地元の祭りや連携した古墳まつりなどのソフト事業を展開する。また、古墳や自然を紹介するガイドボランティアを要請し活用する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
ソフト事業については現地を活用して古墳見学や埴輪作り、勾玉作り等の古代生活体験を実施したほか、近隣施設やショッピングセンターと連携して体験学習講座等を実施した。ガイドボランティアについては拡充に向け養成講座を開催し新規会員を募集したほか、各種ソフト事業において活用した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	施設がまだないことから、夏の時期の現地体験は健康面、安全面から厳しいため、秋の時期に実施することが望ましい。		

状況を示す写真や資料等



古墳見学  
平成27年10月～12月実施  
参加者数計1,400人



養成講座  
平成27年10月～11月



ショッピングセンターでの埴輪作り体験  
平成27年6月～平成28年2月  
参加者数計6,440人



夏休み古代体験  
平成27年8月19日～8月22日  
参加者数計1,460人



評価軸③-28

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成27年度
項目	現在の状況	
指定文化財(建造物・史跡等)の保存修理事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 昭和47年度～

支援事業名 市単独事業 ※国・愛知県指定文化財は、文化財保存事業費関係国庫補助・愛知県文化財保存事業費

計画に記載している内容 指定文化財であるお寺、神社、個人住宅などの歴史的建造物や史跡・名勝といった地域の歴史遺産の保存修理や管理に要する経費について、補助金を交付する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

名古屋市指定文化財等の保存管理・保存継承のために補助金を交付した。  
 (平成27年度市指定文化財等の保存団体39件へ補助を実施(民俗文化財などは国の補助事業も活用))

mi	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	市の補助金だけでは十分な対応が難しいことから、国の補助事業も有効に活用していく。

状況を示す写真や資料等

深沢第3号墳保存管理事業  
 (古墳の保存のため、除草・樹木剪定等を実施)

除伐・除草事業前



除伐・除草事業後



中ノ切神楽保存継承事業  
 (祭行事で使用する神楽太鼓の修理の実施)

修理前



修理後





評価軸③-29

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成27年度
項目		現在の状況	
まちづくり協議会等による地域まちづくりへの支援		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成24年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	地域で活動する多様な主体(住民、自治会、NPO、商店街、企業、行政等)が集まり、まちの将来像を話し合うまちづくり協議会等を設置し、その実現に向けた方針をまとめたまちづくり構想を作成したり、地域の魅力向上や課題対応などの取り組みを主体的にすすめていく、地域まちづくりを支援していく。 定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
以下の支援を行い、まちづくり構想づくりとその実践を推進している。 H25サポート制度活用団体 10団体 H26サポート制度活用団体 13団体 H27サポート制度活用団体 12団体			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	地域まちづくりに取り組むまちづくり団体が増加傾向にあり、今後も支援を実施していく。		

状況を示す写真や資料等



《ふるさと徳重まちづくり会》  
 地区の魅力や課題を整理し、めざすまちの将来像やまちづくりの方針を検討する会議を開催  
 (H27年度は6回開催)



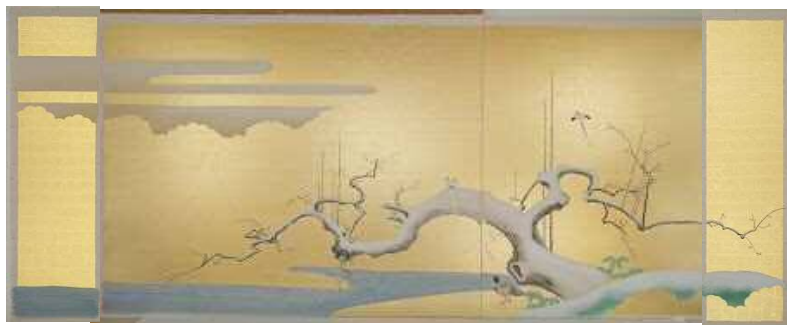
《荒子の里協議会》  
 地区内の歴史ある観音寺境内にて朝市を実施  
 (H27年11月より毎月開催)

評価軸③-30

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成27年度
名古屋城本丸御殿障壁画復元模写			現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成4年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	国の重要文化財に指定されている名古屋城旧本丸御殿障壁画等を参考に、400年前の鮮やかな色を蘇らせるべく、描かれた当時の状態を再現する「復元模写」を制作し、本丸御殿復元時に御殿内に取り付けて展示する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成25年度は、上洛殿上段之間の床壁貼付絵や襖絵、天井板絵など33面を制作した。 平成26年度は、上洛殿西入側の壁貼付絵や襖絵、上段之間の天井板絵など38面を制作した。 平成27年度は、上洛殿三之間の壁貼付絵や襖絵、上段之間の天井板絵など43面を制作した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	史実に忠実な障壁画復元模写の制作のため、重要文化財障壁画の熟覧等を行いながら事業を進める		
状況を示す写真や資料等			

【平成27年度 制作画面(一部)】



対面所梅之間床絵



上洛殿三之間襖絵



上洛殿上段之間天井板絵

平成27年度末 進捗率 43% (1,325面中569面完)

評価軸③-31

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成27年度
項目		現在の状況	
名古屋城本丸御殿障壁画保存修理		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	昭和61年度～		
支援事業名	国宝重要文化財等保存整備費補助金		
計画に記載している内容	国の重要文化財に指定されている名古屋城日本丸御殿障壁画について、絵の具の剥落、虫害、下地の傷みなど損傷を生じているものを順次修理し、保存・継承を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成25年度は、上洛殿の天井板絵30面の保存修理を行った。 平成26年度は、上洛殿の天井板絵29面の保存修理を行った。 平成27年度は、上洛殿の天井板絵28面の保存修理、表書院等の襖絵16面の点検修理を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	今後の展示・貸し出しの予定を勘案し、計画的に修理を行う		
状況を示す写真や資料等			
【平成27年度 修理画面(一部)】			
			
上洛殿一之間天井板絵		上洛殿入側天井板絵	
			
表書院一之間襖絵(点検修理)			



評価軸③-32

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成27年度 現在の状況
郷土ゆかりの文学資料室		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成17年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 郷土ゆかりの文学資料が時代とともに散逸することを防ぐため、文化のみち二葉館(旧川上貞奴邸)の一部を活用して、郷土ゆかりの文学資料の保管・展示を行うことにより、市民文化の振興に寄与する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 市民や文学関係者が保有する文学資料について、その保存状態や歴史的価値を調査した。  
 〈平成26年度〉阿久根治子氏遺贈資料(716点)、浅野梨郷氏遺贈資料(179点)  
 〈平成27年度〉阿久根治子氏寄贈資料(44点)、浅野梨郷氏寄贈資料(55点)、近代文学史関係資料(298点)
- 収蔵資料や折々のテーマに基づいた企画展及び関連催事の開催  
 〈平成26年度〉春日井建展、杉浦明平展、城山三郎展  
 〈平成27年度〉浅野梨郷展、阿久根治子展

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

○文学資料の調査・保存

- 〈平成26年度〉
- ・阿久根治子氏資料…書籍、直筆原稿、写真、音声資料等はじめ716点
- ・浅野梨郷氏資料…書籍、直筆短冊・色紙、陶磁器、身辺物品等はじめ179点
- 〈平成27年度〉
- ・阿久根治子氏資料…直筆原稿等はじめ4,446点
- ・浅野梨郷氏資料…直筆色紙等はじめ55点
- ・近代文学史関連資料…歌人直筆色紙、自費出版本はじめ298点



寄贈された資料

○文学関係企画展

- 〈平成26年度〉
- ・「春日井建の世界」展 5月20日～6月15日 期間中入場者 2,852名
- ・「杉浦明平」展 10月15日～11月9日 期間中入場者 4,426名
- ・「城山コレクション-気骨の作家が遺したもの」展 2月8日～3月8日 期間中入場者 5,443名
- 〈平成27年度〉
- ・「名古屋歌壇の礎、浅野梨郷」展 6月16日～7月20日 期間中入場者 2,886名
- ・「阿久根治子-古事記に魅せられた女流作家」展 10月7日～11月11日 期間中入場者 5,833名



企画展の様子



「浅野梨郷」展 チラシ

評価軸③-33

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成27年度
項目	現在の状況	
水上交通ネットワークの検討	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成23年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 中川運河、堀川及び名古屋港を連絡し、熱田、名古屋城及びささしまライブ24などの歴史資産や拠点をめぐる新たな水上交通網の実現を目指す。熱田の宮の渡しと桑名の七里の渡しを結ぶ東海道唯一の海路である七里の渡しの復活に向けて、民産学官の観光舟運に関する情報共有と連携強化を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

市民をはじめとする多くの人に乗船機会を提供するため、体験乗船を行った。また、民産学官の観光舟運に関する情報共有と連携強化を図るため、水上交通網推進プラットフォームを開催した。

- ・平成26年度 中川運河体験乗船～船とあおなみ線で巡るリニア・鉄道館への旅～及び七里の渡し体験乗船の開催
- ・水上交通網推進プラットフォーム会議の開催(7月、3月)
- ・平成27年度 中川運河体験乗船及び七里の渡し体験乗船の開催
- ・水上交通網推進プラットフォーム会議の開催(10月)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

- ・水上交通網推進プラットフォーム会議  
 平成26年 7月10日 第7回水上交通網推進プラットフォーム会議  
 平成27年 3月19日 第8回水上交通網推進プラットフォーム会議  
 平成27年10月26日 第9回水上交通網推進プラットフォーム会議



【H27年度中川運河体験乗船】  
参加:101名

- ・体験乗船  
 平成26年11月2日, 9日 中川運河体験乗船～船とあおなみ線で巡るリニア・鉄道館への旅～  
 平成26年11月22日, 23日 七里の渡し体験乗船  
 平成27年11月3日 中川運河体験乗船  
 平成27年11月22日 七里の渡し体験乗船



【H27年度七里の渡し体験乗船】  
参加:47名

評価軸③-34  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成27年度
項目		現在の状況	
「ものづくり文化の道」推進事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成13年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 名古屋駅北東に位置する西区の南部地域を「ものづくり文化の道」とし、ものづくりを中心としたこの地域の魅力を産業観光、産業振興、商店街の活性化といった産業面のみならず、歴史的な価値を有する建造物や町並みの保存・活用を図りながら高め、その魅力を地域の内外に発信していく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

●当該地域の「ものづくり文化」に触れてもらうために、体験や展示が楽しめる「ものづくり文化の館」を開催した。			●当該地域の魅力のひとつである菓子産業を広く発信するために「西区も～やっこお菓子まつり」を開催した。		
開催場所	日時	体験者数	開催場所	日時	来場者数
円頓寺七夕まつり	平成27年8月1日(土)・2日(日) 午後2時30分～午後7時	419人	庄内緑地	平成27年10月11日(日) 午前10時～午後3時	同時開催の西区民おまつり広場と合わせて 60,000人
西区民おまつり広場	平成27年10月11日(日) 午前10時～午後3時	234人			
mozoワンダーシティ	平成28年2月20日(土) 午前11時～午後4時	176人			

●外国人や若者の視点で「ものづくり文化の道」の新たな魅力の発見やPR方法の提案をしてもらい、今後の情報発信に活かしていくための事業「ものづくり文化の道のいいとこさがし隊」を実施した。

実施日	参加者	内容
平成27年8月1日(土)	外国人留学生7人	まち歩き・ものづくり体験・レポート作成など
平成27年8月2日(日)	日本人大学生7人	

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	イベントによってこの地域の盛り上げや魅力の発信を行っているが、経常的にこの地域を訪れて楽しんでもらうものが少ないことが課題である。

状況を示す写真や資料等





評価軸③-35

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成27年度
項目		現在の状況	
中区の成り立ち・歴史・文化をいまに伝える事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成25年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	おおよそ400年前の清州越以来、名古屋の中心で脈々と伝えられてきた中区の魅力を市民グループと協働で発信し、中区の成り立ち・歴史・文化をいまに伝える。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・平成27年9月6日(日)に第40回堀川文化講座「名古屋の電気今昔」を開催。終了後「おから猫ドーナツ」を参加者に配布。参加者54名 ・平成27年10月1日～平成27年12月25日「広小路南界限スマホdeまちあるき」を開催。参加者49名 ・平成27年10月25日(日)第20回 堀川文化歩こう会「広小路南界限の寺社と名古屋の電気・ガスゆかりの地を歩く」を開催。参加者48名(申し込み50名)			
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
			
・第40回堀川文化講座「名古屋の電気今昔」			
			
・第20回 堀川文化歩こう会 「広小路南界限の寺社と名古屋の電気・ガスゆかりの地を歩く」			

評価軸③-36

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成27年度 現在の状況
熱田区役所における歴史資料展示		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成22年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 熱田区役所1階に「熱田区歴史資料展示コーナー」を設け、市民から寄贈された歴史資料を展示する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

年2回の展示替及び区民まつり、生涯学習まつりでの展示を行い、10月24日の緑区民まつりにも参加し展示を行いました。  
 歴史資料の分類整理については、展示替え作業及び区民まつり、生涯学習まつりでの展示と並行して、デジタル化の作業を進めていきました。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



第12回展示  
**終戦70年「空襲の風景」、「熱田と名古屋の風景」**  
 平成27年4月1日～9月30日



第13回展示  
**熱田百ヶ寺**  
 平成27年10月1日～平成28年3月31日



平成27年10月11日区民まつりの展示の様子

評価軸③-37

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成27年度
項目		現在の状況
名古屋まつり		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間	昭和30年度～
支援事業名	市単独事業（名古屋市、愛知県、名古屋商工会議所を構成員とする名古屋まつり協進会で実施）
計画に記載している内容	昭和30年に戦災復興を祝して始まり、山車揃や郷土英傑行列など名古屋の歴史にちなむ催しも多い名古屋まつりを継続して開催する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

多くの市民及び本市来訪者等に、市の伝統・文化・魅力に触れ、知っていただくことを目的に名古屋まつりを実施した。

平成27年(第61回)名古屋まつり(平成27年10月17日(土)・18日(日)を中心に開催)

【主な事業】

- ・郷土英傑行列・山車揃・神楽揃などの豪華絢爛な時代行列を実施
  - ・ご当地武将隊・ご当地アイドルによるステージや、なごやめし・東北グルメなどが集合した会場行事を実施
- 【人出】210万人

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

- 平成27年(第61回)名古屋まつり
- 日 程 平成27年10月17日(土)・18日(日)を中心に実施
- 来場者数 210万人





評価軸③-38

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成27年度
項目	現在の状況	
山車祭り等の伝統行事の継承事業や山車などの保存修理事業、及びわくわく文化財普及事業など文化財公開活用事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 昭和47年度～

支援事業名 市単独事業 ※文化遺産を活かした地域活性化事業・愛知県文化財保存事業費、文化財保存事業費国庫補助

計画に記載している内容 指定文化財である地域の民俗芸能・伝統行事の継承等について補助するとともに、文化財公開活用事業を行っている。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・市内の無形文化財や民俗文化財の継承のために必要な用具の修理・新調および練習等に係る補助を行うことで、民俗芸能・伝統文化の継承や後継者の育成を行うことができた。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

専門家による現地での現況確認・修繕方法の指導などを通じて、文化財の保存技術の向上を図っていく。

状況を示す写真や資料等



有松西町神功皇后車の車輪修繕修理前現地指導



鳴海裏方高欄欠損箇所の修繕方法指導

評価軸③-39

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成27年度
項目	現在の状況	
伝統産業若手育成事業助成	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成5年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 伝統産業に従事する人材の定着の促進を図るため、その若手技術者を育成する市内企業に対して補助金の交付を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

「伝統産業若手技術者育成事業費補助金交付要綱」に基づき、名古屋伝統産業協会会員団体に所属する市内企業に対し補助金を交付した。(同協会は昭和54年に市内伝統産業の産地組合により設立。構成:13業種12団体)  
 ・平成25年度補助金交付件数:7件 ・平成26年度補助金交付件数:6件 ・平成27年度補助金交付件数:9件

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



名古屋友禅



名古屋黒紋付染



名古屋仏壇



名古屋提灯



名古屋桐筆筒



尾張仏具



名古屋扇子

評価軸③-40

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成27年度
項目	現在の状況	
伝統産業新商品開発事業助成	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成5年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 伝統産業製品の新たな需要開拓を図るため、市内伝統産業の業界団体が行う現代感覚にあった新商品開発事業に対して補助金の交付を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

「伝統産業新商品開発事業費補助金交付要綱」に基づき、名古屋伝統産業協会会員団体に対し補助金を交付した。(同協会は昭和54年に市内伝統産業の産地組合により設立。構成:13業種12団体)  
 ・平成25年度補助金交付件数:2件 ・平成26年度補助金交付件数:2件 ・平成27年度補助金交付件数:4件

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



・補助金交付団体名  
名古屋仏壇商工協同組合  
 ・新商品名  
「伝統的工芸品 15号各宗向け」



・補助金交付先団体名  
名古屋桶工業組合  
 ・新商品名  
「米櫃(おけのこめびつ)」



・補助金交付団体名  
尾張仏具技術保存会  
 ・新商品名  
「在家用現代型供養台」



・補助金交付団体名  
名古屋提灯製造組合  
 ・新商品名  
「インテリア2重透かしちょうちん」



評価軸③-41

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成27年度
項目		現在の状況	
伝統産業製品PR事業助成		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成14年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	伝統産業製品に対する需要を喚起するため、広く消費者に伝統産業製品のPRをするイベントの出展経費及びPRのための冊子・パンフレット等を作成する経費等に対して補助金の交付を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
「伝統産業製品PR事業補助金交付要綱」に基づき、名古屋伝統産業協会会員団体に対し補助金を交付した。(同協会は昭和54年に市内伝統産業の産地組合により設立。構成:13業種12団体) ・平成25年度補助金交付件数:2件(展示会等出展:1件、PR冊子等作成:1件) ・平成26年度補助金交付件数:3件(展示会等出展:1件、PR冊子等作成:2件) ・平成27年度補助金交付件数:4件(PR冊子等作成:4件)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



表



中

- ・補助金交付団体名  
名古屋仏壇商工協同組合
- ・事業内容  
PRポスター製作(A2版 40部)  
Webサイトリニューアル(PC用、スマートフォン用)

- ・補助金交付団体名  
名古屋扇子製造組合
- ・事業内容  
英語版パンフレット作成(A4版3ツ折 5,000部)

評価軸③-42

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成27年度
項目	現在の状況	
名古屋市民芸術祭	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成2年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 総合的な市民文化芸術の祭典として、毎年、10月・11月の2ヶ月間にわたって、主催事業とコンテスト方式の参加公演事業を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で  
 主催事業のうちのいけばな芸術展では、この地域のいけばな作家が流派を超えて季節の花を発表。  
 (出品数:244点 入場者:㉗9,239人 ㉘9,348人 ㉙10,493人)  
 また、参加公演事業では、伝統芸能などの4部門で参加を募り、部門ごとに市民芸術祭賞・市民芸術祭特別賞を授与した。  
 (伝統芸能部門 参加公演数:㉗㉘㉙4公演 市民芸術祭賞:㉗該当なし ㉘該当なし ㉙:1公演 市民芸術祭特別賞:㉗1公演 ㉘1公演 ㉙1公演)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

●いけばな芸術展

会 期:平成26年度 10月28日(火)～11月2日(日)  
 平成27年度 10月27日(火)～11月1日(日)  
 会 場:名古屋市民ギャラリー栄 第6～11展示室  
 出品流派:池坊、石田流、小原流、嵯峨御流、真生流、草月流、  
 日本生花司松月堂古流、オール愛知華道連盟、  
 名古屋華道文化連盟、名古屋市各区いけばな団体連合会



いけばな芸術展ポスター

●参加公演事業(伝統芸能部門)

平成27年度(参加公演数 4公演)  
 ・市民芸術祭賞 該当なし  
 ・市民芸術祭特別賞 「筑前琵琶八洲流初代宗家 安倍旭洲招聘  
 (功労賞) 100年記念 第二部「尾張名古屋に蘇る筑前  
 琵琶・久世旭如リサイタル」



久世旭如リサイタル  
 日時:11月15日(日)  
 会場:名東文化小劇場

平成26年度(参加公演数 4公演)  
 ・市民芸術祭賞 該当なし  
 ・市民芸術祭特別賞 「園美の会舞踊公演一部 第四回桜美の会」  
 (奨励賞)

評価軸③-43

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成27年度
項目	現在の状況	
なごや子どものための巡回劇場	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 昭和55年度～  
 支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 次代を担う子どもたちを対象に、伝統芸能・人形劇・児童劇・交響楽・バレエなどを身近な生活圏において、低料金で楽しんでもらうため、文化小劇場や区役所講堂・ホールを会場に、各区を巡回して公演を行っている。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

子どもたちを対象とする伝統芸能の公演として、狂言の公演を実施。(平成27年度入場者数:443人)  
 次代を担う子供たちに、名古屋の伝統文化を身近に触れてもらう機会を提供した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

●平成27年度  
 狂言共同社「狂言がやってきた！」  
 8月18日(火) 千種文化小劇場  
 8月19日(水) 中川文化小劇場  
 (各日2回公演)

※入場料は大人・子どもとも700円



27年度公演チラシ(表)



27年度公演チラシ(裏)

27年度公演の様子





評価軸③-44

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成27年度
項目		現在の状況	
名古屋市芸術文化団体活動助成		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	昭和48年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	伝統芸能の活動団体など、市内を活動の基盤とする芸術文化団体の日常活動の成果発表事業の経費の一部を助成することにより、市民の芸術文化活動の振興を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
伝統芸能分野については、26年度は申請がなく、27年度についても交付実績はなし。 (26年度は1件申請があったが、交付条件を満たさず不交付決定した)			
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	伝統芸能の分野については、毎年申請が少ない状況にある。補助年限が決まっているため、長く活動している団体は既に交付年限が切れてしまっていることが多いことや、伝統芸能の分野で新興団体が少ないことが理由として考えられるが、出来るだけ多くの団体に活用していただけるよう、今後もより効果的な周知方法を検討していく。		
状況を示す写真や資料等			
○補助対象となる団体 音楽・演劇・舞踊・伝統芸能・美術・映画等の芸術文化の領域において、組織的、継続的に創造・鑑賞及び研究活動を行い、当該年度の4月1日現在で、創立3年以上を経過し、その間1回以上名古屋市内での自主文化活動実績がある団体 ○補助対象となる事業 当該年度の4月1日から3月31日までに実施される(全事業が完了するもの)、広く市民を対象にした市内公開事業、政令指定都市等で実施する事業で、営利を目的としないもののうち、下記表の左欄に該当するもの ○補助対象とならない事業 ①政治的または宗教的な事業 ②稽古ごと・習いごと等のおさらい会や発表会 ③チャリティー事業 ④名古屋市から助成金を得て実施される事業 ⑤文化芸術団体以外との共催事業 ⑥名古屋市外の会場で行う事業など			
補助対象となる事業		補助金の額	
1 音楽・演劇・舞踊・伝統芸能等の舞台関係の創造団体が、構成員自らの出演による舞台公演を市内の会場で行う場合		会場使用料の2分の1以内の額。ただし、15万円を限度とします。	
2 絵画・書・彫塑・工芸・写真等の美術創造団体が、構成員自らの作品を市内の会場で発表する展覧会		会場使用料以内の額または事業総経費の2分の1のうち、いずれか低い額。ただし、15万円を限度とします。	
3 映画を自分たちで創る団体が自らの作品を市内の会場で発表する上映会			
4 音楽・演劇・舞踊・伝統芸能等の舞台芸術及び映画の鑑賞団体が、構成員自らの自主性に基づく企画で市内の会場を使用して行う鑑賞会		会場使用料の2分の1以内の額。ただし、15万円を限度とします。	
5 芸術文化団体が政令指定都市または東京都特別区で実施する上記1～3の事業(他都市事業)で、その前後6月以内に、事業の事前周知又は成果の発表のために行う同種の市内事業を伴うもの(都市交流事業)		上記1は会場使用料の2分の1以内の額。2、3は会場使用料以内の額または事業総経費の2分の1のうち、いずれか低い額。ただし、他都市事業及び市内事業それぞれが15万円を限度とします。	

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成27年度 現在の状況
文化財調査、市町村による文化財指定、保存管理(活用)計画の策定・見直しなど		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 重点区域内に残る市指定文化財の山車などの保存及び活用を引き続き支援していく。また、志段味地区を重点的に施策を展開し、主要な古墳については、史跡指定を検討し、保存を担保するとともに、基本計画の策定を進めていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・平成26年中に追加指定を受けた志段味古墳群の発掘調査(勝手塚古墳)を行った。
- ・名古屋城下町の山車祭り総合調査について着手し、なごや祭・花車神明社祭りについて現地調査を実施した。
- ・歴史文化基本構想の策定作業をすすめ、構想案の原案を作成した。
- ・歴史文化基本構想に関連して文化財悉皆調査を実施した。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

緊急的な修繕が多く、長期的な視点に立った修理計画等が今後計画されるべきである。

状況を示す写真や資料等



山車祭り総合調査(平成27年度～)  
中村区 内屋敷唐子車の祭礼調査  
上:棒締め作業 下:夜の曳行



歴史文化基本構想策定  
上:意見聴取イベントちらし 下:同イベントの様子  
第1回 平成28年1月23日 参加人数 140名  
第2回 平成28年2月13日 参加人数 187名

評価軸④-2

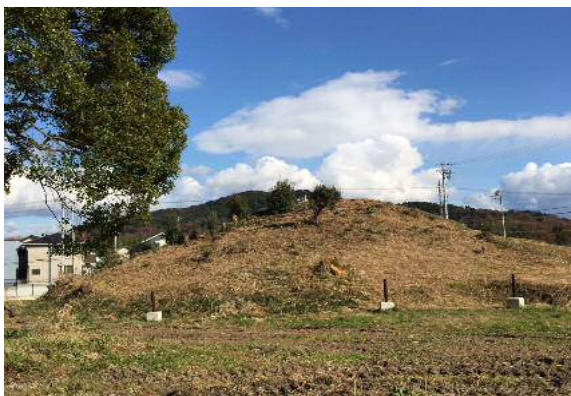
文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成27年度 現在の状況
文化財に関する事業(修理・修景、復元等)、文化財の周辺環境(道路・博物館等施設)に関する事業など		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
計画に記載している内容 ・「歴史の里」整備事業(古墳等の整備) ・「歴史の里」整備事業(全体ネットワーク化事業) など		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		

評価軸③-10、20参照(P12、P22)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	古墳等の整備では、また、第2期整備に向けて、調査及び計画策定が必要である。また、全体ネットワーク化事業では、案内板、サイン等の効果的な設置位置等について、さらに検討を行う必要がある。
状況を示す写真や資料等	

○「歴史の里」整備事業(古墳等の整備) 評価軸③-10参照



(平成27年10月時点)



(平成28年2月時点)

志段味大塚古墳(保存復元工事施工中)

○「歴史の里」整備事業(全体ネットワーク化事業) 評価軸③-20参照



ゆとりーとライン大曽根駅に設置した案内版  
(平成28年2月設置)



歴史の里PRロゴ  
(平成28年2月制作)



評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	平成27年度 現在の状況
・防災に関する事業(防火・防犯のための施設設備の設置・改修等) ・文化財防火デー等の防災訓練の取組			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
計画に記載している内容	指定文化財に設置された消防設備の確認や防火訓練、志段味地区の古墳の安全管理施設の整備等、文化財パトロール員の巡視等		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
指定文化財建造物の施設・所有者の内、毎年1月26日の文化財防火デーに合わせて16施設を抽出し、市消防署及び自衛消防団と協力・連携して防災訓練及び消防施設の査察を実施している。 また、市文化財パトロール員を活用し、志段味地区の古墳を含めた市内に存する文化財を定期的に巡視し、災害等の報告を受けた場合は直ぐに対応して文化財の保護・管理に努めている。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	指定文化財建造物の件数が非常に多いが、順次ローテーションを図りながら巡視を継続していく必要がある。		

状況を示す写真や資料等

文化財防災デー(平成28年1月26日)  
 における防災訓練の実施(写真は日泰寺での訓練)



【平成27年度 文化財防災デー消防訓練実施施設(計16施設)】

覚王山日泰寺(千種区)、徳川美術館(東区)、聖徳寺(北区)、  
 大乃伎神社(西区)、豊国神社(中村区)、名古屋城(中区)、八事山興正寺(昭和区)、  
 名古屋市東山荘(瑞穂区)、熱田神宮上知我麻神社(熱田区)、牛立八幡社(中川区)、  
 当知神明社(港区)、富部神社(南区)、八劔神社(守山区)、  
 龍蟠山瑞泉寺(緑区)、高牟神社(名東区)、高照寺(天白区)

評価軸④-4

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成27年度 現在の状況
文化財に関する普及・啓発の取組、民間団体への助成・支援（保存会への支援、用具の修理、担い手の育成等）、民間団体と連携・協力した取組、民間団体が実施した取組等		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
計画に記載している内容 ・「歴史の里」整備事業（全体ネットワーク化事業） ・「歴史の里」整備事業（公開活用事業） ・山車祭り等の伝統行事の継承事業や山車などの保存修理事業、及びわくわく文化財普及事業など文化財公開活用事業 など		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で		

評価軸③-20、27、38参照（P22、P29、P40）

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	国などの補助事業も有効に活用し、助成・支援に対応していく。また用具の修理等も長期的な視点に立って計画していく必要がある。普及・啓発の活動も地域との連携をより密にし取り組んでいく。

状況を示す写真や資料等



有松西町神功皇后車の車輪修繕修理前現地指

評価軸③-21、28、39参照



鳴海裏方高欄欠損箇所修繕方法指導



ショッピングセンターを中心に歴史の里のPRとして、埴輪作り等の体験事業を実施した。



歴史の里の整備にあわせて本物の古墳の発掘体験事業を実施した。  
平成27年8月19日～8月22日 参加者数計60人



評価軸④-5

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成27年度 現在の状況
埋蔵文化財の取り扱いに関する方針(具体的な計画)		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

- 計画に記載している内容
- ・埋蔵文化財包蔵地についての周知及び開発との適切な調整(①・②)
  - ・市内での開発行為における住宅都市局建築審査課との連携(①)
  - ・名古屋城跡・志段味古墳群の発掘調査など(③・④)

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成25年度:名古屋城跡搦手馬出石垣解体にともなう発掘調査  
 平成26年度:文化財保護法第93条に基づく届出提出の啓発チラシを作成し、住宅都市局建築審査課等の関係機関に配布  
 住宅都市局建築指導課が案内している重要事項調査シートに周知の埋蔵文化財包蔵地、国指定史跡を記載  
 名古屋城跡西の丸地区発掘調査、名古屋城跡搦手馬出石垣解体にともなう発掘調査、名古屋城二之丸庭園発掘調査、志段味大塚古墳発掘調査  
 平成27年度:平成26年度に作成した文化財保護法第93条に基づく届出提出の啓発チラシを住宅都市局建築審査課等の関係機関に配布(①)  
 名古屋城本丸御殿跡周辺発掘調査(②)、名古屋城跡搦手馬出石垣解体にともなう発掘調査、名古屋城二之丸庭園発掘調査(③)、名古屋城跡西の丸地区発掘調査の報告書作成、勝手塚古墳発掘調査(④)、勝手塚古墳等レーダ探査、東谷山12号墳測量調査、志段味古墳群の群集墳の分布調査

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	周知の埋蔵文化財包蔵地における手続きの周知をより進めていく必要がある。

状況を示す写真や資料等



①重要事項調査シート



②名古屋城本丸御殿跡周辺発掘調査 (平成28年1月～3月)



③名古屋城二之丸庭園発掘調査 (平成27年6月～10月)



④勝手塚古墳発掘調査 (平成27年7月～9月)



評価軸⑤  
効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	年月日	掲載紙等
貞奴が見た「初夏」の光(旧川上貞奴邸)	平成27年4月28日	中日新聞(朝刊)
国の登録文化財に30件(県内) 崇覚寺本堂など	平成27年7月18日	読売新聞(朝刊)
歴史ある9市町巡ろう	平成27年8月28日	中日新聞(朝刊)
御殿“元”の場所”に障壁画 名古屋城で特別展示	平成27年10月16日	中日新聞(朝刊)

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

計画に位置付けられた事業について、数多くの報道がされ、市民への周知につながったと考えられる。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	

状況を示す写真や資料等



平成27年4月28日 中日新聞(朝刊)



平成27年7月18日 読売新聞(朝刊)



平成27年8月28日 中日新聞(朝刊)



平成27年10月16日 中日新聞(朝刊)

評価軸⑥-1  
その他(効果等)

評価対象年度 平成27年度

項目

観光客数の動向について

計画に記載  
している内容

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

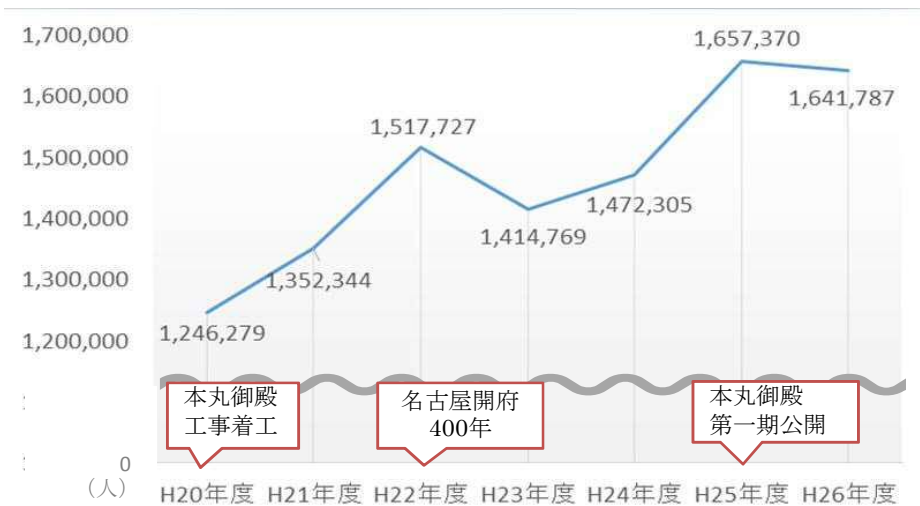
本丸御殿の復元工事・公開をはじめ、文化財の整備が進む名古屋城において、入場者数が右肩上がりである。また、本市全体の観光客入込数についても、増加傾向にある。

進捗状況 ※計画年次との対応

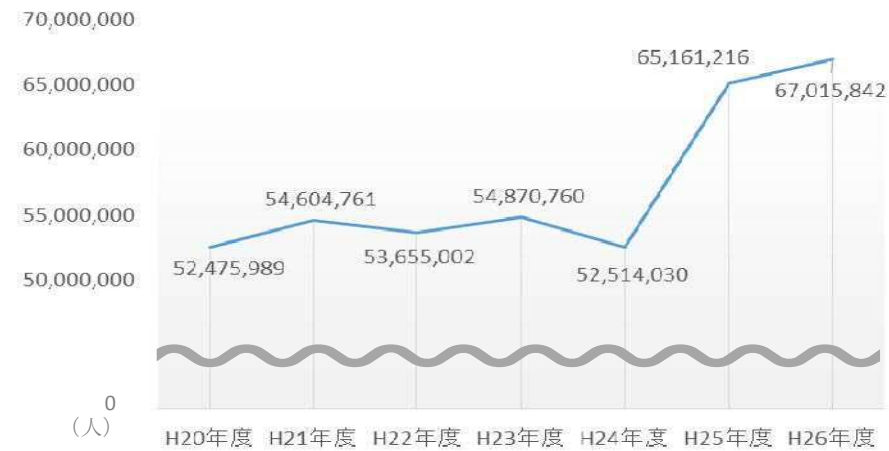
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等



名古屋城入場者数の推移



名古屋市観光入込客数の推移

出典: 名古屋市観光客・宿泊客動向調査(平成26年度)

評価対象年度	平成27年度
<p>・法定協議会等におけるコメント</p>	
<p>コメントが出された会議等の名称： 名古屋市歴史的風致維持向上計画懇談会</p>	
<p>会議等の開催日時：平成28年3月23日</p>	
<p>(コメントの概要)</p> <p>○ 進捗評価について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 課題と処理方針については、積極的に記載し、明確化しておくように。</li> <li>・ それぞれの事業内容がよりわかりやすくなるように工夫をすべき。 (案内板の設置事業において、設置場所を地図で示すなど)</li> <li>・ イベントについては、可能な限りアンケート結果も記載する。</li> <li>・ 定例の行事や施設の運営管理等について、例年とどう違うのか記載する。</li> <li>・ 助言・指導に関する事業については、その内容についても記載する。</li> <li>・ 市の総合計画の目標値の進捗状況についても記載する。</li> <li>・ 効果等については、効果がわかりづらいことも課題。アンケート等で歴史まちづくりとしての効果数値を出して行くことも検討していくとよいのでは。</li> </ul> <p>○ 計画の内容について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 補助金について、実績が少ないものについては、助成基準を見直すことも必要である。</li> </ul>	
<p>(今後の対応方針)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各事業の効果について、市民アンケートの結果を利用する等、市民向けによりわかりやすい評価方法を検討する。</li> <li>○ 進捗評価が各事業の見直し・拡充等の契機となるよう努める。</li> </ul>	